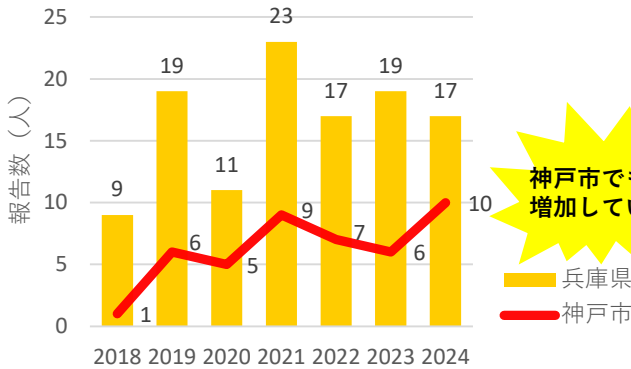


# ダニが媒介する感染症に注意

ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに咬まれることによって起こる感染症のことです。

日本紅斑熱の発生状況



参考：兵庫県における日本紅斑熱の発生状況

兵庫県内で近年、春から秋にかけて日本紅斑熱の患者が増加傾向です。推定感染地域も県内各地に広がっています。

神戸市でも年々増加しています



マダニの大きさ

吸血前 3mm～8mm  
吸血後 10mm～20mm

フタトゲチマダニ

(国立感染症研究所昆虫医科学部提供)

野外作業や農作業、レジャー等でダニの生息場所に立ち入ると、ダニに咬まれることがあります。ダニがウイルスや細菌などを保有している場合、以下のような病気を発症することがあります。

## 日本紅斑熱

潜伏期間：2～8日

症状：発熱・発疹・刺し口が特徴。  
頭痛、倦怠感を伴う。

患者発生：4月～10月にみられ、特に9月と10月に多い。

## つつが虫病

潜伏期間：5～14日

症状：発熱・発疹・刺し口が特徴。  
リンパ節腫脹もみられる。

患者発生：春～初夏及び晩秋から冬に多い。

## 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

潜伏期間：6～14日

症状：発熱・リンパ節腫脹・消化器症状  
(嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血)など。  
重症化し、死亡することもある。

患者発生：5～8月に多い。

山や草むらでの野外活動の際は、マダニに咬まれないように注意しましょう！

## ◎対策のポイント

- マダニが多く生息する、草むらや藪には出来るだけ入らないようにしましょう。
- 肌の露出を少なくしましょう。  
⇒草むらや藪に入る場合は、長袖・長ズボン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等）、足を完全に覆う靴（サンダルなどは避ける）、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻くなどしましょう。
- 虫よけ剤（ディート、イカリジンなどの忌避剤）を使用しましょう。
- 服は明るい色のもの（マダニを確認しやすい）がおすすめです。
- 野外で使用した上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう。
- 野外活動後はシャワーや入浴で、マダニが肌についていないかチェックしましょう。  
特にわきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、髪の毛の中がポイント。



## ◎マダニが皮膚についていたら…

- 無理にとろうとせず、皮膚科等を受診し、処置をしてもらいましょう。
- マダニに咬まれた場合、数週間程度は体調の変化に注意してください。  
発熱等の症状が認められた場合は、医療機関を受診してください。

【受診時に伝えること】  
・ダニに咬まれたこと  
・野外活動の日付・場所